

◆ 納税通知書用封筒に広告を載せませんか

納税通知書用封筒の掲載広告募集

【問い合わせ】 課税課
☎ 22-9614 FAX 22-9618

【対象者】 民間事業者・公共的団体

【掲載箇所】 封筒の裏面

【募集枠】 各封筒につき1枠

【広告の規格】 大きさは縦70mm×横80mm、色は黒一色、広告主の名称と連絡先を明記したものを。なお、原稿はeps形式の電子データにより作成してください。

【申込方法】 納税通知書用封筒広告掲載申込書（様式第1号）に必要事項を記入の上、次の資料を添付し、申込期間中に課税課へ持参してください。郵送・ファックス・Eメールなどでは提出できません。なお、申込書は課税課にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

- ① 広告の原稿を紙に印刷したもの、またはその形状と内容を示す書類
- ② 事業者の事業の概要がわかる書類
- ③ 広告事業についての許認可証の写し

◎ 募集する封筒の種類と広告掲載料

| 名称 | 送付先 | 発送時期 | 発送数(予定) | 広告掲載料 |
|-----------------|--------------------------|-----------|----------|---------|
| 市民税・県民税納税通知書用封筒 | 市民税・県民税の納税者のうち普通徴収による納税者 | 2019年6月中旬 | 約20,000通 | 20,000円 |
| 軽自動車税納税通知書用封筒 | 軽自動車税の納税者 | 2019年5月上旬 | 約30,000通 | 30,000円 |
| 固定資産税納税通知書用封筒 | 固定資産税の納税者 | 2019年4月上旬 | 約50,000通 | 50,000円 |

※この発送時期以降、約1年の間に随時発送することがあります。

※発送予定数を超えた場合、広告掲載のない納税通知書用封筒を送付することがあります。

※広告掲載料には消費税と地方消費税を含みます。

【申込期間】 11月1日(休)～15日(休)

【掲載の決定方法】

広告の内容を審査し、掲載することが適当と認められる申込者の中から、市内に本店、支店、営業所などがある人を優先し、先着順により決定します。(同着の場合は抽選とします。)

※募集に関する詳細については、「伊賀市納税通知書用封筒広告掲載募集要項」をご確認ください。

※事業者の業種などによっては、広告を掲載できない場合がありますので、「伊賀市広告掲載要綱」・「伊賀市広告掲載基準」をご確認ください。



◆ 今後の財政状況をお知らせします

伊賀市中期財政見通し(2019～2023年度)

【問い合わせ】 財政課
☎ 22-9608 FAX 22-9694

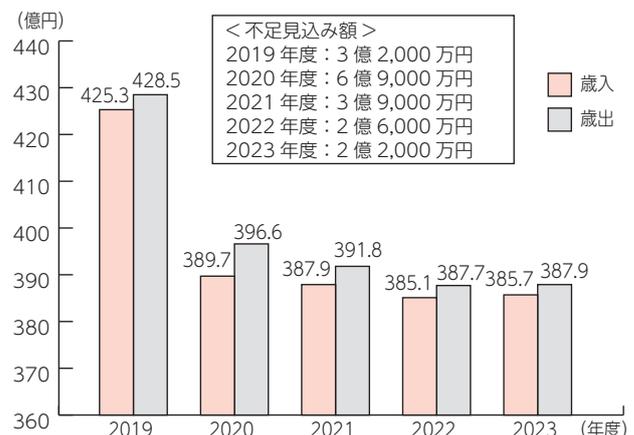
右のグラフは、市の今後5年間の財政状況（一般会計）見通しを示しています。

歳入では、国からの地方交付税が段階的に縮減されるなか、歳出では、義務的経費（人件費・公債費など）の割合が高くなり、財政の硬直化が進み政策的な経費に使える財源が少なくなっていくことが予想されます。

市では、住みやすいまちづくりや持続可能な財政運営を進めるため、事業の選択と集中や、事務の効率化など、行財政改革の取り組みを進めます。

なお、グラフの数値は、今後の景気動向や税制改正などにより、変動する場合があります。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



◆ 俳聖松尾芭蕉を偲び、式典と俳句大会を行います
しぐれ忌・しぐれ忌俳句大会

【問い合わせ】文化交流課
 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

しぐれ忌

芭蕉翁を偲び、その功績を称えるため、翁の旧暦の命日にあわせて行っている式典です。

- 【とき】 11月12日(月)
- 式典：午前9時30分～
- 講演会：午前10時20分～11時35分
- ※絵手紙・手向句集・菊などの展示を行います。
- ※芭蕉公園の散策も楽しんでいただけます。

【ところ】 萬壽寺(柘植町7373番地)

《講演会》

- 演題：芭蕉の魅力
- 講師：芭蕉翁記念館 学芸員 高井 悠子

【問い合わせ】

- 芭蕉翁記念館
☎ 21-2219
- (公財)芭蕉翁顕彰会
☎ 21-4081

しぐれ忌俳句大会

今年で54回目となる俳句大会です。講演会と選句・披講・選評・表彰を行います。

- 【とき】 11月11日(日)
- 受付：正午～
- 投句締切・開会：午後1時

【ところ】

ふるさと会館いが 小ホール

【定員】 120人(自由参加)

【選者】 柘植史子・石井いさお・伊藤政美・橋本輝久・藤井充子・宮田正和 ※敬称略

《講演会》

- 演題：わからない俳句
- 講師：俳人 柘植 史子さん(俳誌「ふう」同人)

【問い合わせ】

- 伊賀支所振興課
☎ 45-9111 FAX 45-9120

◆ 人命や財産を守り安心して生活するために
川上ダム本体工事がいよいよ本格化します

【問い合わせ】企画管理課
 ☎ 43-2321 FAX 43-2324

9月2日(日)、青山ホール・ダムサイト左岸天端で川上ダム本体工事の起工式が行われました。

川上ダムは、安定した水道水源に利用するほか、既に運用を開始している上野遊水地と、現在実施されている河道掘削とともに、上野地域の洪水被害を軽減する目的で整備されるものです。昭和42年の予備調査から50年以上の歳月を経て、昨年9月に本体工事の契約が締結されました。

式典には、地元国会議員や国土交通省などの関係機関、ダム移転地の住民などが出席しました。

今後は2023年3月末の完成に向けて工事が進められることになっています。今年度は固い岩盤まで掘り進める基礎掘削工事を行い、次年度以降はダム本体の堤体のコンクリート打設などの工事が行われる予定です。

既に「川上ダム」と明記された資機材などの運搬車両が市内を走行しています。安全には万全を期して運行しますので、ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ】

- (独)水資源機構 川上ダム建設所
☎ 52-1661 FAX 52-3091
- 企画管理課



◀ 起工式の様子

▶ 完成予想図

